

※本メールは電気学会会員（電子・情報・システム部門にご所属）で
メールアドレスをご登録されている方にお送りしています。

C部門会員 様

★★「C部門メールマガジン（2019-03号）」★★

電子・情報・システム部門
部門長 神保 泰彦

目次

- 【1】 部門長からのメッセージ
- 【2】 部門大会のご案内
- 【3】 研究会のご案内
- 【4】 部門誌のご案内
- 【5】 特集号論文の募集
- 【6】 調査専門委員会などのご案内

1. 部門長からのメッセージ

C部門は論文誌が充実していることが最大の特徴です。5つの部門誌の中で論文・レターのページ数は最多、共通英文論文誌でも大きな割合を占めています。この論文誌をさらに魅力的なものにするを旨とし、特集企画と査読の充実に取り組んでいます。特定の技術委員会が毎年決まった月に特集企画をすると決まっていれば、投稿に向けた準備がしやすくなるのではないかと考え、特集号カレンダーというものをWEBに掲載しました。1月号は電子回路、以下2月：システム、3月：電子デバイス、制御、4月：光・量子、5月：医用・生体、6月：通信、9月：知覚情報といった感じです。それに加えてレビュー論文（特集解説）の充実を目指しています。例えば「エネルギーデータ収集・解析におけるIoT、AI活用技術」という特集において当該分野に関連する研究の歴史、最新動向、今後の課題がレビュー論文で提示されれば、個別の特集論文の理解も深まるのではないのでしょうか。C部門には基礎研究から応用、実用化まで様々な段階の研究者がそろっています。学術的基礎事項から応用事例まで、当該分野の研究開発動向を俯瞰して理解する特集号として仕上げることを目指しています。

査読の充実という視点からも2つの課題があると考えています。1つは査読期間の短縮です。現状、論文投稿から掲載決定まで、平均して約6ヶ月かかっています。このうち投稿から初回査読結果が著者に戻るまでの期間をできるだけ短くすることを目標に、編修委員会／論文委員会で知恵を絞っています。全ての投稿論文について2ヶ月以内に初回査読結果を返すことを具体的な目標として設定、最適な査読者に依頼することを最重要課題とします。もう一つの要素は査読コメントの充実です。教育的配慮に基づく（論文の完成度が高くなる、投稿者にとってためになる／研究をさらに進めるために役立つ）コメントを返すことが和文論文誌の重要な使命であるという考えに基づき、編修委員会を通じて意思統一をはかっています。

部門大会は、「若手が学会活動に参加する端緒となる機会」と位置づけて、学生入会キャンペーン、学生ポスターセッション、Student Competition、英語論文・発表セミナーなどをこなしてきました。最近では600名程度が参加（2019年琉球大会参加者は661名）する部門の中心活動として安定しつつあります。次の段階として、「産業界のメンバーにとって参加する意義が明確な大会にする」ことを目指し、「研究開発の目利き」の機会となるセミナー、学生にjob matchingの機会を提供する催しなどを計画しています。最近では深層学習（H28）、サイバーセキュリティ（H29）、ブロックチェーン技術（H30）、第一次産業のIT化（R1）をテーマとする先端技術セミナー、企業の若手と学生が交流する学生セミナー等を実施してきました。米国では研究開発の最前線は企業内で完結せず、Silicon Valley等に林立するベンチャー群、Startupグループの育成と彼らとの連携が必須になりつつあり、学生側も自らの発想を生かして起業する意欲が高い、それが米国のエネルギーになっているようです。そのような視点から今後の日本の研究開発について討論する場を設けることも意義があるのではないのでしょうか。2020年の部門大会は富山県立大学射水キャンパスで9月9-12日の開催を予定しています。3月にセッションやセミナーの企画を具体化して参ります。楽しめる、そして有益な大会になるよう、学会活動に参加してよかったと思える運営を心がけてまいります。ご意見、要望、提案などを是非お寄せください。

2. 部門大会のご案内

2020年は、9/9～9/12に富山県立大学 射水キャンパスでの開催を計画しております。是非ご参加ください。

▼2020年開催の部門大会のご案内はこちらです▼
<http://denki.iee.jp/eiss/conf2020>

3. 研究会のご案内

▼今年開催予定の研究会のご案内はこちらです▼
https://www.iee.jp/tech_mtg/host/host_2019/

▼来年(2020年)開催予定の研究会のご案内はこちらです▼
https://www.iee.jp/tech_mtg/host/host_2020/

皆様のご参加をお待ちしております。

4. 部門誌のご案内

▼最新号の部門誌の目次、ならびに本文はこちらです▼
https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ieej_eiss/-char/ja

5. 特集号論文の募集

▼現在論文募集中の特集号のリストはこちらです▼
<http://www.iee.jp/eiss/cfp>

- (1) 2019 電気関係学会四国支部連合大会 2020年10月号
✕切 2019年12月23日(月)
- (2) 知能メカトロニクス分野と連携する知覚情報技術 2020年9月号
✕切 2019年12月25日(水)
- (3) 電気関係学会関西連合大会 2020年11月号
✕切 2020年1月27日(月)
- (4) 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 2020年12月号
✕切 2020年3月3日(火)
- (5) 電子回路関連技術 2021年1月号
✕切 2020年2月17日(月)

皆様のご投稿をお待ちしております。

6. 調査専門委員会などのご案内

▼現在活動中の委員会の一覧はこちらです。▼
<https://www.iee.jp/comite/c/>

▼委員を公募している委員会の一覧はこちらです。▼
<https://www.iee.jp/comite/offering/>

▼新しい調査専門委員会の公募についてははこちらです。▼
http://denki.iee.jp/eiss/?page_id=409

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

※このメールアドレスは配信専用となっております。
本メールに返信していただきましても、ご質問・ご依頼などにはお答え
できませんので、あらかじめご了承下さい。

=====

▼メルマガ配信停止またはe-mailアドレス変更の手続きは、こちらから▼
https://www.iee.or.jp/cfml/OA/front/login/fco_Login.cfm

■今回のIEEJ EISS ニュースはC部門広報・情報化担当がお届けしました。■
【本メールへの問い合わせはこちらへ: c-div@ieej.org】